

2026年5月12日

各位

株式会社三井住友銀行

KLASS 株式会社に「SMBC 社会課題解決推進支援融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）は、KLASS 株式会社（代表取締役社長：頃安 雅樹）に「SMBC 社会課題解決推進支援融資」を実施いたしました。

「SMBC 社会課題解決推進支援融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：内川 淳）が、企業の社会課題解決に向けた取り組み状況を確認した上で、①組織の社会課題への取り組み姿勢等に対する所見と、②ロジックモデル（事業活動を通じた社会課題への道筋が見える化したもの）の仮説を提示し、今後の取り組み推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、KLASS 株式会社については、以下に記す事業を通じた社会課題解決について、取組推進に向けたアドバイス等を提供しました。

① 畳製造システムを活用した構造改革提案による地域の畳店の事業承継への貢献

事業内容	コンピュータ式畳製造システムを開発し、畳店経営のコンサルティングサービスとセットで畳店に提案しておられます。 (構造改革提案)
当該事業を通じて解決を目指す社会課題	地域企業の後継者発掘・円滑な事業承継
社会課題解決への貢献内容	畳店がコンピュータ式畳製造システムを導入することで、畳製造が省力化・省人化され、顧客における労働力不足の解消に貢献します。また、コンサルタントの指導や省力化による営業人員の捻出等で畳店の営業力が強化され売上が増加すれば、後継者も定着して顧客の事業継続性が高まります。地域経済の活性化に貢献するとともに、全国の畳産業の維持発展にも寄与します。

（参考）社会課題概要

中小企業経営者の高齢化が進み、2000年頃には50代がピークでしたが、2020年には60～70代へと上昇しています。後継者発掘に苦戦する企業も多く、60代以上の中小企業経営者のうち、後継者が決まっている割合は12%という調査結果があります（R5 日本政策金融公庫総合研究所）。少子化により子が事業承継しないケースが増えているほか、子が自ら望む仕事に就くケースが増えたことが背景にあると考えられます。

② 協働ロボットを活用した省人化システムの提供による地場産業の維持

事業内容	協働ロボットを活用した省人化システムを設計・開発し、地元たつの地場産業に販売しておられます。
当該事業を通じて解決を目指す社会課題	物流業、建設業、サービス業等における労働力不足の解消
社会課題解決への貢献内容	地場の手延べそうめん問屋が協働ロボットを活用したマテハンシステム（そうめん投入装置）を導入することで、技能の伝承にもつながる手作業の製麺工程を尊重しつつ、後工程の箱詰め工程が自動化され人手不足解消に貢献します。また、本システムの導入により従業員の作業工数が減少し、労働環境の改善につながります。これらを通じ、人口減少地域において地場産業が維持されることにも寄与します。

（参考）社会課題概要

帝国データバンクの調査によると、2026年の懸念材料として「人手不足」をあげた企業が44.5%でした。少子高齢化・人口減少が深刻化する中、労働力の減少や労働力の高年齢化が懸念されています。これらの問題は都市圏以外の地域において、より深刻です。製造業においては、職人の高齢化に伴う技術継承の課題や、サービス業においては、離職率の高さによる人手不足問題が深刻です。

株式会社三井住友銀行では、「SMBC 社会課題解決推進支援融資」を通じて、お客さまの幅広い社会課題解決に向けた取組を支援することで、お客さまとともに社会的価値創造の好循環を生み出す取組を推進してまいります。



そうめん投入装置（協働ロボット）
導入前



そうめん投入装置（協働ロボット）
導入後



コンピュータ式畳製造装置
(両用ロボット VICTORY II)



KLASS 株式会社が主催する
全国畳店研修会

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】
法人戦略部 サステナブルソリューション室
TEL : 03-4333-6965

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。